

## 新たな地域コミュニティ支援事業にかかる中間評価結果

## 1 中間評価

## (ア) 取組実績の評価 (1) 事業の実施状況の評価

## 評価項目

1. 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
  - (1) 地域課題への取組にかかる支援の実施状況
  - (2) つながりの拡充にかかる支援の実施状況
  - (3) 組織運営にかかる支援の実施状況
  - (4) 区独自取組にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代等のニーズを把握する「コノまちインタビュー」や課題解決のヒントを得る「コノハナのハナシ」の開催などの独自の取り組みは評価する。今後これまで以上に地域の取り組みを自らが発信するための広報活動に対する支援がなされることを期待する。</li> <li>・新しい担い手が参画して若年層の参加につながった先進事例を、他地域へも応用して活動の活性化につなげることができるよう期待する。</li> <li>・会計ソフトの作成・会計処理の勉強会の開催など、組織運営に関わるきめ細かい支援が実施されていることは評価できる。</li> </ul>

## (イ) 取組実績の評価 (2) 事業の実施体制等の評価

## 評価項目

1. 自由提案による地域支援の実施状況
2. スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
3. フォロー（バックアップ）体制等
4. 区役所との連携

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの相談や問い合わせに適切に対応しており、まちづくりセンターの体制については問題はなく、区とも十分連携が図られている。</li> <li>・此花区では、さまざまな災害に対する地域の自主防災力の向上を重点的に取り組んでおり、そのためには区内の若い世代の参加や高齢者に対する支援が重要である。これまで以上に地域・区役所と連携し、実践的な防災訓練や避難所開設訓練などの活動の支援に取り組むことを期待する。</li> </ul>

## (ウ) 取組効果の評価 目標等の達成状況の評価

## 評価項目

1. アンケート調査
2. 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
  - (1) 地域課題への取組の達成状況
  - (2) つながりの拡充の達成状況
  - (3) 組織運営の達成状況
  - (4) 区独自取組の達成状況
3. その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査では地域の評価も概ね期待どおりであるが、今後も地域の実情に適応した支援を継続するとともに、担い手の拡充、他団体との連携、地域資源の有効な活用、法人格取得への取組などについて、重点的な取り組みが行われることを期待する。</li> </ul>

(エ) 総合評価

- ・上記の評価を踏まえ、総合的に評価

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組実績については、全地域画一的な支援ではなく、他区の先進的な事例等の情報収集を行いながら、地域実情に応じた支援が実施できている。</li> <li>・地域団体内での認知度も高く、信頼関係が構築されており、地域と行政との中間支援役としてその機能を十分発揮している。今後も、地域との相互理解の深化を図りながら支援の質の向上に取り組んでいただきたい。</li> </ul>

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない

2 平成 27 年度までの継続契約に向けた適否審査

平成 26 年度上半期の取組実績などの評価及びこの度の委員意見などを勘案し、現受託者の継続契約の適否審査

区の審査	評価及び意見
継続	<p>市民局から示されている「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」における平成 26 年度末までの達成水準を達成する見込みであること、地域との信頼関係や相互理解が構築できており、平成 27 年度の目標を達成するためには、れれらのさらなる深化が必要であることから、平成 27 年度は継続契約することが適当である。</p>

(注) この度の評価結果により次年度の受託者が決定したものではありません。

今後、契約事務審査会での審査など本市規定に則り、次年度事業者を決定してまいります。